

1. 件名：検査制度見直しに関する日本原子力研究開発機構との面談

2. 日時：令和2年1月10日（金）10：30～11：20

3. 場所：原子力規制庁 13階 会議室D

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 高橋課長補佐

核燃料施設等監視部門 熊谷統括監視指導官、関主任監視指導官

専門検査部門 高須統括監視指導官、大東首席原子力専門検査官、早川上席原子力専門
検査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全・核セキュリティ統括部 次長 他7名

5. 要旨

- (1) 日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）から、配布資料（1）に基づき、廃止措置中の研究開発段階発電用原子炉施設及び再処理施設における検査の独立性に関するJAEAの考え方について、令和元年12月16日の面談を受けた変更点に関する説明があり、以下のとおり意見交換を行った。
- (2) 原子力規制庁から、今回説明のあった施設のうち、重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置が要求されている原子力施設を質問し、JAEAから廃止措置計画において再処理施設との回答があった。
- (3) 原子力規制庁から、これらの施設については、組織的独立性を確保することを規定等に明記できないかと質問し、JAEAから、施設管理実施計画や検査要否整理表に記載して検査を実施することとしているため、検査の際のフリーアクセスなどで確認いただくことは可能で得あるとの説明があった。
- (4) 原子力規制庁から、施設管理実施計画や検査要否整理表の準備状況について、今年度内に試運用で確認できないか打診し、JAEAから、対応できる施設について検討する旨の回答があった。

6. 配布資料

- (1) ふげん及びもんじゅにおける検査体制の独立について（JAEA資料）